

赤嶺ヶ丘



4月号 平成28年4月22日(金)発行

〒894-0622 奄美市笠利町大字笠利1924番地 TEL 0997-63-8114

新入生7名を迎え、29名で平成28年度がスタートしました。

校長 曾木 與英

昨年度は笠利中学校の教育活動、PTAの行事などに保護者、地域の皆様には格段のご支援、ご協力を賜り、衷心より厚くお礼と感謝を申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

PTA行事、体育大会、文化祭、地区中体連総体、地区駅伝大会など多くの行事へのご協力、ご支援、心からの応援を賜り、全ての行事を成功裏に終了することができました。

4月9日(土)は、第2土曜授業で里前地区の皆様をはじめ地域の皆様に大変お世話になり、すばらしい郷土教育を実施することができ、衷心より厚く感謝と御礼を申し上げます。

さて、4月6日に新任式、始業式、第69回入学式を盛大かつ厳かに実施でき、新入生7名、新2年生9名、新3年生13名、合計29名、牟田典丘教頭以下7名の職員を迎え、平成28年度をスタートしました。笠利中は、昭和23年4月呱呱の声をあげ、平成28年度で、創立69年の歴史を数えます。敗戦まもない創立当時は、物資がなく、極貧の中から結いの心と団結力、絆、多くの地域の方々の志が実り、悠久の大自然・奄美群島国定公園・太平洋を一望できる風光明媚な赤嶺ヶ丘に威風堂々とそびえ立つことが出来たと聞いています。そして、今日まで、幾多の栄冠・苦難を見守り、有川清蔵初代校長の創立入魂の碑「努力と和・文化に光れ笠利中」を標榜し、卒業生の皆さんは、一身不乱に本校で文武に励み、青春を謳歌し、数々のすばらしい功績を残してきております。中でも、特筆すべきは、過去に岩元壽一監督率いる女子バレーボール部が、昭和44年から昭和53年の僅か十年間に全国大会に5回の出場を誇り、2回準優勝の栄光に輝いていることです。この記録は、鹿児島県中学校女子バレーボール全国大会の長い歴史の中に潸然(さんぜん)と輝き、この栄冠は、今も破られていません。長い笠利中の文武両道の歴史の中で、笠利中、保護者、笠利中校区、地域、赤嶺会の誇り、名誉であり、今も大きな精神的支柱、心の支えとなっています。



八月踊りの様子：里前公民館

昨年度は、男子バレー部が県大会出場、県総体陸上800M3位、地区駅伝大会6位(本島内2位)、大島地区新人女子バレーボール名瀬大会優勝、続いて、開運酒造杯優勝、春季バレーボール大会優勝と3連勝の快挙・栄冠でした。また、送別お別れ駅伝大会優勝、野球部が春季選抜県予選大会で鈴倉健太君の大きな大きな応援に絶対に報いたい一心で強豪校にひるむことなく立ち向かい、僅か9名の部員で、笠利中ストゴレ精神を見事に発揮し、優勝、県大会出場を決めました。今回は、女子バレー部、野球部と笠利中を代表する2チームが県大会出場の栄冠に輝き、笠利中の歴史・伝統に華を添えることができたところと自負しています。

このように卒業生、在校生は、小規模校のハンディーをものともせず、むしろそれをバネにしてかつての栄光に更に磨きをかけられるように日々厳しくも地域の皆さんの応援を背中に一杯受けながら、充実した日々を過ごしています。心から、入学を祝福し、新入生、在校生の皆さんが笠利中の伝統のたすきをしっかりと受け継ぎ、活躍することを保護者・地域の皆さん・赤嶺会の皆さんと共に心から期待したいと思います。

さて、入学式の式辞でも話しましたが、中学生として、これからの学校生活を充実させるために四つの

ことを新入生はもちろん、新2年生、新3年生、保護者の皆さんにも改めてお知らせし、中学校生活がより充実することを期待したいと思います。

一つ目は、笠利中学校の校訓をしっかりと覚えてもらい、行動力のある中学生になって欲しいということです。笠利中学校の校訓は「**自主自律**」「**積極進取**」「**創造開拓**」の三つです。

- 「**自主自律**」：友達や他人任せにせず、友達や他人の意見などを尊重しながら自分でしっかり判断し、自分で自分の進むべき方向に自分を導けるようにしましょう。
- 「**積極進取**」：何事も自分から進んで行動し、プラス試行で行動しましょう。
- 「**創造開拓**」：今の自分に満足することなく新しいものをつくるためあらゆることに果敢に挑戦しましょう。

この三つの校訓をいつも念頭において、行動してほしいです。

二つ目はあいさつのできる生徒になって欲しいということです。家族、先生、先輩友人、近所の人など誰にあってもあいさつのできる中学生になって欲しいのです。学校を明るくする第一歩はあいさつです。いつもさわやかなあいさつを実行しましょう。

三つ目は勉強や部活動などにおいて、自分なりに目標を掲げ、しっかり取り組み、折々で、取り組みについて「反省」をし、目標に一步近づくようにして欲しいです。

四つ目です。私達のふるさと奄美大島は、奄美の黒ウサギ、県鳥ルリカケス、マングローブなどこのすばらしい貴重な数の少ない、希少価値に富む自然やすばらしい歴史、文化、伝統、芸能、大島紬など伝統工芸、風土、風習など多くの多様性に富む貴重な世界に誇れる遺産をたくさん残し、今世界から高い評価を受け、その価値は人類共通の宝であるとの認識がされています。また特に明治から多くの優れた人材を世の中に輩出し、人材の島ともいわれてきています。高知県知事を務めた笠利町佐仁出身の永野芳辰(ながのよししたつ)は、戦前日本の総理大臣を託された人物です。世界的刑法学者として知られた龍郷町出身の泉二新熊(もとしんくま)大審院長、枢密院顧問、瀬戸内町出身の世界的ロシア文学者・昇曙夢(のぼりしょうむ)、文学者・島尾敏雄、画家・田中一村などあらゆる分野に全国屈指の人材を輩出し続けてきています。このようなすばらしい奄美をさらに大切に慈しみ、この美しい豊かな島、奄美からさらに学び、奄美の自然、伝統芸能、文化など豊で貴重な多様性に富む遺産を守りながら、奄美の発展にも尽くせる人になれるようふるさと笠利・奄美についても笠利中学校で一杯学んでほしいです。

本年度も保護者・地域の期待、御恩に応えられるように頑張ります。どうか、保護者・地域の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

【平成28年度 職員紹介】

職名	氏名	担当教科等	職名	氏名	担当教科等
校長	曾木 與英		教諭	福田 信也	保体・技術
教頭	牟田 典丘		教諭	徳永 絹代	英語
教諭	西小野 雄一	国語	講師	鈴木 明実	美術
教諭	青堀 美子	社会	養護教諭	園田 和代	保健
教諭	喜島 宏樹	数学	事務職員	山田 智子	事務・経理
教諭	坂之上 裕史	理科	校務員	飯田 小代利	校務全般
教諭	山田 明美	音楽・家庭			



新入生7名先輩に負けられないように頑張ります！



4	25	月	眼科検診	5	6	金	1日遠足	5	14	土	土曜授業
	26	火	避難・防犯訓練		9	月	宿泊学習事前指導		17	日	歯科検診
	27	水	生徒会専門部会		10	火	宿泊学習(1年:~12日)		18	月	3年実力テスト
	28	木	PTA総会・学級PTA		13	金	スケッチ大会(2年)		20	金	スケッチ大会(3年)

